

第1学年 道徳科（人権）学習指導案

1 主題 人間としてあるべき姿を学び、自分の行動へ

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

自分自身の生活を見つめ直すことで、身近なところにある差別意識を見抜く力を身に付け、仲間と共に差別解消に向けて行動しようとする意欲や態度を育てる。

4 指導計画

共に生きる

「ちがいのちがい」（“あわ”人権学習ハンドブック）

【総合的な学習の時間】2時間

- ・身の回りにみられる「あってよいちがい」「あってはいけないちがい」に気付き、多様性を受容していこうとする態度を育てる。

自分を見つめて

「自分以下を求める心」（わたしの願い）

【道徳科】3時間

- ・自分自身を見つめて、自分の心にある差別意識に気付き、よりよい自分になっていこうとする意欲を高める。

差別や偏見のない社会の実現へ

「招かれなかつたお誕生会」（江口いと 人権の詩「人の値うち」）

【道徳科】1時間

- ・部落差別の不合理さに気付き、自分たちができる考えを考え、行動しようとする意欲を高める。

歴史に学ぶ

「日本人権獲得の歴史 中世・近世」（わたしの願い）

【総合的な学習の時間】2時間

- ・中世から近世までの人権の歴史を理解し、差別されていた人々が社会や文化を支え、たくましく生きてきたことを理解させる。
- ・昔の差別の不合理さに気付き、身の回りに残っている差別解消への意欲を高める。

人間としてあるべき姿を学び、自分の行動へ

「人の値うち」（わたしの願い）

【総合的な学習の時間】1時間

【道徳科】3時間（本時3／3）

- ・作者の思いから、自分自身の心にある偏見や差別意識と向き合い、これから自分できることを考え、部落差別はじめ様々な差別をなくすため行動していこうとする態度を育てる。

〈常時活動〉

明日への扉・どこチャレ	レクリエーション・SST (毎週水曜日)	絵本の読み聞かせ (毎週金曜日)
<ul style="list-style-type: none">・小さいことでも続けることで自信を付け、いろいろなことに挑戦できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・レクリエーションを通して級友とコミュニケーションをとり、互いを思い合う集団をつくる。・ソーシャルスキルを身につけ、円滑な人間関係を築くことができるようになる。	<ul style="list-style-type: none">・絵本の読み聞かせを行い、生徒の聞く力を身に付け、想像力を高めることで、相手の気持ちや思いに気付く、他者を尊重する意識を育む。

5 本時の学習

(1) 目標

自分の中にある偏見や差別意識に気付き、部落差別をはじめ様々な差別を解消していこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値

C - (11) 公正、公平、社会正義

(2) 普遍的な学習のテーマ 偏見と差別

個別人権課題名 同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。	○服装や外見、肩書き、学歴、生まれたところで人の値うちを決めつけてしまう「あやまち」について確認させる。
2 江口さんがこの詩を通して、一番伝えたかったことは何かを考え、発表する。	○生まれた場所によって「人の値うち」を決めつける行為が、部落差別そのものであることに気付かせる。 ①②
3 自分たちの生活を見つめ直し、これから生き方について考え、発表する。	○自分自身や社会の中にある「偏見や差別意識」をなくしていくには、日頃からどのようなことを心がけ、身に付けていけばよいかを考え発表させる。 ② ○「人の値うち」から学んだことをもとに、これからどう行動していくのかを考え、江口いとさんにメッセージを書かせる。 ①

(4) 評価

・自分の中にある偏見や差別意識に気付き、差別を解消していこうという意欲を高めることができたか。

(価値的・態度的側面) ①

・友達の意見をしっかりと聴き、自分の思いや考えを伝えることができたか。

(技能的側面) ②